

529ヘクタールの水源の森からのホットな情報発信 第58号 2008年3月

やどりき水源林ニュース

発行 社かながわ森林づくり公社県民運動課 編集 かながわ森林インストラクターの会
 〒258-0021 足柄上郡開成町吉田島2489-2
 ☎0465-85-1900 URL: http://www.ny.airnet.ne.jp/k_sinrin

やどりき水源林 定例観察会のお知らせ

毎日曜日午後1時より1~2時間の水源林をご案内する観察会をかながわ森林インストラクターの会【森の案内人】で行っております。参加希望の方は1時までに水源林ゲート前にご集合ください。費用負担等はございません。

水源林は春間近

2月29日のやどりき水源林は、9時に管理棟前の気温1℃。落ち葉に霜がついていました。それでも日差しは暖かく、景色もほんのり色づいて見えます。3月に入ったら一気に賑やかになりますよ。さあ、春を探して見ましょう。



霜柱で浮いた石が、日中暖かいとカラカラと上から落ちて来ますので、気をつけておいで下さい。



霜の中でも元気な緑の葉っぱ

上は、水棚沢出合からみた寄沢上流の様子。スギの木が花粉をつけて赤っぽく見えます。

左は、後沢にある堰堤。寄りかかっている木に、今冬は久々にツララができました。これも、もうすぐ融け落ちてしまいます。(2月24日)



ヤマハンノキ

長い房状のものは雄花



ミツマタの花

満開になるのはもう少し先

★林道の管理棟から集会棟の間で、土砂の崩落を防止する工事がはじまりました。



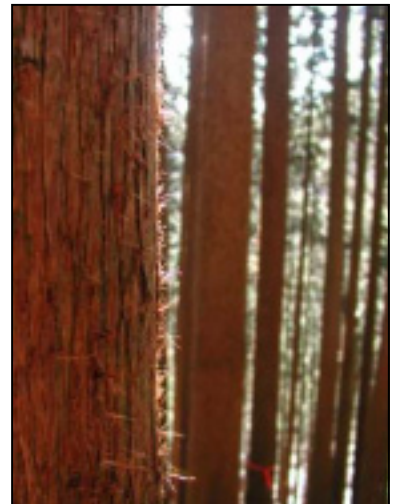
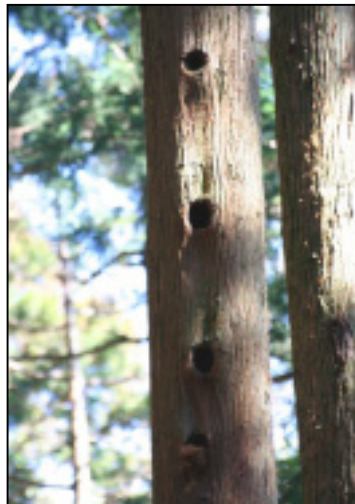
この場所は多種類の木が観察しやすい所にありました。ダンコウバイやマメザクラを目の高さで見ることができ、ヤマブキ、ヒメウツギ、バイカウツギ、ウツギと次々に花が咲き、秋には毎年サルナシの実を楽しみにしていました。サルナシと並んで同じ仲間のマタビもあります。イヌブナの実を見るにも最適な場所でした。

これらのどこまで切られてしまったか定かではありませんが、木を切ってネットが張られています。

ここにあった植生が、また復活できることを願います。

★平成20年度に開かれる「成長の森」予定地へ行ってきました。ここは、当初「巨木林」のエリアとされていた所です。下の左の写真は、林内の様子です。

ミツマタの林を抜けたところには、モモンガが利用していると思われる巣穴のある木が何本かあります。下の真中の写真をよく見ると、一番下の穴から巣材がはみ出しています。また、このあたりの木は、幹が毛羽立っています（下の右の写真）。モモンガなどが活発に行動しているようです。急激な環境の変化が心配です。



3月のトピックス

沢筋で、ミソサザイが元気に囀りはじめました。鳴き声が聞こえたら、沢の石や倒木の上をさがしてみてください。尻尾を上げて一生懸命囀っています。同じような格好をした少し大きめのカワガラスも、繁殖の時期を迎え、堰堤の水抜き穴に出入りします。



4月の見所・聴き所

- ・ジュウガツザクラが春の最盛期を迎えます。
- ・カジカガエルがそろそろ鳴き始めます。寄沢の石の上を探してみてください。
- ・木々の若葉がきれいです。種類によって微妙に色が違います。